

# 平成30年第5回大田原市議会定例会

## 質 問 通 告 表

期 日	曜日	開始時間	質 問 者
平成30年 12月4日	火	午前 11時頃から	1 滝田 一郎 議員 (一誠会) 2 大豆生田 春美 議員 (政友公明会) 3 菊池 久光 議員 (政友会) 4 本澤 節子 議員 (無会派)
平成30年 12月5日	水	午前 10時から	5 秋山 幸子 議員 (無会派) 6 櫻井 潤一郎 議員 (政友自民クラブ) 7 小池 利雄 議員 (政友公明会) 8 印南 典子 議員 (一誠会) 9 高木 雄大 議員 (政友会) 10 中川 雅之 議員 (無会派)
平成30年 12月6日	木	午前 10時から	11 鈴木 央 議員 (一誠会) 12 高瀬 重嗣 議員 (政友会) 13 小野寺 尚武 議員 (無会派) 14 星 雅人 議員 (一誠会) 15 千保 一夫 議員 (無会派)

大 田 原 市 議 会

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	1	議席番号	5	質問者	滝田 一郎

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 平成31年度予算編成方針について	(1) 方針記載の大田原市総合計画の基本政策に基づく主要事業について伺います。 (2) 今年度予算からの5%削減目標について伺います
2 新元号対策について	(1) 書類や帳票等事務事業への影響とその対策について伺います (2) 納税を始めとする各種システムのソリューション(問題解決)及び関連予算について伺います
3 小中学校エアコン整備事業について	(1) スケジュール及び予算について伺います
4 新庁舎開庁後の行政機能の刷新について	(1) 市民サービスの向上について伺います (2) 新庁舎における行政執行の特色を伺います
5 地区公民館の運営について	(1) 現状と今後の運営の方向性について伺います
6 環境にやさしいバイオディーゼル燃料(BDF)事業について	(1) 廃食用油回収とBDF製造について伺います (2) 市有ディーゼル車の保有状況及び軽油消費量並びに代替燃料としてのBDF使用について伺います
7 子育て親子の交流等を促進する子育て支援について	(1) 就学前の年齢別子ども人数と在宅子育て人数について伺います (2) 地域子育て支援拠点施設事業の利用実績と今後の民営拠点施設の推進について伺います

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	2	議席番号	13
		質問者	大豆生田 春美

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について	(1) 接種率と接種されていない方へどのような対応をされているのか現状を伺いたい (2) 来年度から定期接種が65歳の方のみとなるが、市として66歳以上の方を対象に法定外接種として接種料金の一部を助成することはできないか伺いたい
2 LLブック(やさしく読みやすい本)の導入について	(1) 6月定例会において質問しているが、その後の進捗状況を伺いたい
3 新生児聴覚検査について	(1) 新生児聴覚検査費助成の考えはあるか伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	3	議席番号	10
		質問者	菊池 久光

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 子育て支援券発行及び販売終了後の取組みについて	<p>(1) 子育て支援券発行及び販売終了後の、新たな取組みについて伺いたい</p> <p>(2) 自治体ポイント等を利用して、マイナンバーカードの普及を併せた取組みはどうかと思うが考えを伺いたい</p>
2 自転車の安全利用促進について	<p>(1) 全国の自治体における自転車の安全利用促進への取組み状況について伺いたい</p> <p>(2) 県内の各自治体における自転車の安全利用促進への取組み状況について伺いたい</p> <p>(3) 自転車安全利用条例制定の考えについて伺いたい</p>
3 火災・災害時のサイレン吹鳴と情報伝達・情報連携について	<p>(1) 現在、火災発生時や災害時・火災予防運動期間中に消防団員が手動で吹鳴している消防サイレンを無線での吹鳴にすべきと考えるが、今後について伺いたい</p> <p>(2) 消防サイレンを含めた、有事の際の情報伝達手段について伺いたい</p> <p>(3) 市及び消防・警察・病院等の情報連携について伺いたい</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	4	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 教育問題について	<p>(1) いじめ、不登校、暴力行為などについて</p> <p>昨年度 全国のいじめの状況は41万4千件(前年比9万1千件増加)、不登校は12万件と深刻な状況が続いています。栃木県のいじめは4千件余で高止まり、不登校は2,594人、5年連続増などとなっております。大田原市の昨年度のいじめの認知件数は、小学校159人(前年比-8人)中学校20人(前年比-9人)、不登校は小学校25人(前年比+2人)中学校72人(前年比+5人)、暴力行為は小学校21人、中学校7人などとなっております、形態別、原因別など調査がなされたようです。市としてこれらの調査結果についてどう考えられ、対処されたのか伺います。各学校における、深刻な事態に至りそうな事例など、どう対処されたのかおたずねします。次に具体的な事例についての市の対応についてお尋ねいたします。本年9月10日、市内中学2年男子生徒が逮捕、罪名は「強制わいせつ」及び「脅迫」。容疑は、県内在住10代女性に8月7日ごろわいせつな行為をし、8月28日ごろ凶器(カッターナイフ)を示し脅迫した疑い、というものです。学校内との情報もあります。市の対応について伺います。重大事案として、専門家を含めた対策がなされたのかお尋ねいたします。その後、父兄、生徒などへの説明がなされたのかなど、当該学校に対する指導状況をお尋ねいたします。9月議会で、きれいな日本語を話す教育についてお尋ねいたしました。「教師の正しい日本語を重視」との答弁がありました。市民より次のような声が寄せられました。世間では、パワハラ、セクハラを無</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	4	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>くそうとしている中で、教師(特に若い教師)が生徒に対し「お前ら、てめえら」呼ばわりし、授業中に「俺がちゃんと教えてるんだから、分からないはずがない」と前置きし、生徒を委縮させた上で、「分からない奴いるか」「わかったよな」とドンドン授業を進めていく。仮にも「分からない」旨の意思表示をしようものなら、「ちゃんと聞いていないお前が悪い」などと恫喝し、生徒のせいにする。出来る生徒には、あからさまに「ちゃんと俺の話を聞いているからな」と厚遇する。社会で生きていくためには、自分よりも立場の上の人に胡麻をすることが大切である趣旨の発言を授業中に延々とする。生徒はある種、教師に対し無抵抗であり、教師に対抗する生徒は、異端であるとして排除されます。教師の子供達への言葉かけや接し方次第で、子供たちの学校生活が、かけがえのないものになります。企業等で騒がれているパワハラ、セクハラもわかりですが、一番闇に隠れているのは、教師が子供を支配している学校ではないでしょうか。</p> <p>との切実な声です。どう思われ対処されますかお尋ねいたします</p> <p>(2) 学校・教育問題への対応について</p> <p>教師によるいじめ、パワハラ、セクハラ、教師に対する暴力、子供による犯罪、いじめ対応の不適切なものなど、学校や教育委員会任せでは解決しない、出来ない問題が多くなってきていると思われれます。教育は未来への重要な投資、専門家を含めた対応機関を設けるなど、市長がきちんと責任を持って対応すべきと思いますがいかがですか。</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	4	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
2 高齢者対策について	<p>市長の答弁を求めます</p> <p>(1) 高齢者の外出支援について</p> <p>医療機関へのタクシー券、私も利用してみました が、帰りは3組の乗車があり、1時間前後かか てしまいました。山和タクシーさんへの指定で、 全市で3台の利用のようですが、忙しすぎるよう で、対応にも無理があり、もう1台増やすべきで はないかと思えます。黒羽地区のデマンドでもい ろいろな意見が出ていますが、高根沢町のフルデ マンドたんたん号(全町民1乗車100円など) の教訓に学び、改善していくべきではないでしょ うか。タクシー券、デマンドを含め指定タクシー 会社への市の負担額、前年度総額いくらであった か伺います。社会福祉協議会などによるボランテ ィアを活用した、高齢者の外出支援事業により、 高齢者全員への無料外出支援に発展させていく、 展望について伺います。佐久山の社会福祉協議会 では、来年4月開始を目指し、社協によるボラン ティア外出支援サービスを始めると聞きました。 車両は寄付があり、管理費と保険は市負担とのこ とですが、ガソリン代諸経費は寄付を募るとのこ とです。維持できるか不安とのことですが、先例 をつくろうと頑張っておられるようです。市長の ところへもお願いにあがったようですが、激励の 言葉をお願いします。ガソリン代やボランティア への一定の報酬など市の強力な支援により、継 続・発展を計るべきと思いますがいかがですか。 地区社協が自治会との連携もあり、減災・防災・ 健康増進など大きき可能性を語っています。</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	4	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>次に運転免許証返納者への公共交通無料乗車券の終身配布について答えはありませんでした。他の市町にならって改善すべきと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(2) 高齢者総合対策の推進について</p> <p>人生100年時代と言われています。大田原市の65歳以上の方は2万124人(28.2%・平成30年4月1日現在)で3人に1人に近づいています。こうした方々が生きいきと暮らせる大田原市にしていくことは、市の将来にとっても極めて重要な課題です。</p> <p>①大田原市の高齢者対策推進状況について、高齢者対策は市全体のそして地域の活性化にとっても極めて重要です。その重要性についてどうとらえているのか伺います。各支援分野の高齢者対策の重点的な取り組みと特徴・課題について伺います。シルバー人材センターの活用など就労支援事業。ボランティア活動や自治会活動など生きがい支援活動。健康維持・推進事業など、医療・介護分野での事業など重点的な取り組みの特徴・課題について伺います。介護と医療の連携をどう進めるか、愛知などの先進例もあるようです。地区社協との連携など各支援分野との、連絡調整・連携はどのように行われているのか伺います</p> <p>②65歳～75歳ぐらいまでの、いわゆるリタイヤ後の行政の支援対策の重要性について、大田原市の65歳～75歳までの人口は1万1037人です。毎年1123人の方々が65歳以上の仲間入り、リタイヤ後の対象となります。</p>



質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	4	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>これらの方々の、若いときからの地域参加やキャリアビジョン(経験を生かした将来構想)を持つことは極めて重要です。特にリタイヤした時、第2の人生にあたって、これらの方々にどう支援していけるか重要です。これらの方々の要望は多種多様です。無理なく、出来る範囲で働きたい。地域貢献、趣味を生かす、人とのかわりを求める。短時間の就労も可能。即戦力として活躍できる。現役世代の補完的役割など地域や企業・農業、人手不足の介護分野にも応えられるなど、貴重な人材です。また、これらの方々にとっても、現役から間を置くことなく、新たな気持ちで第2の人生をスタートすることはその後の人生にとっても、健康維持にとっても重要です。千葉県柏市の「生涯現役促進協議会」の活動、山形県酒田市の「シニア雇用促進協議会」の活動など全国には多くの教訓があります。また、大田原市でもNPO法人、佐久山の「あべさんち」(居場所や生きがいづくり)一般社団法人大田原の「えんがお」の活動(高齢者と若者との交流)との連携も貴重です。どう発展させますか。市として、リタイヤされた方などを対象とした、生きがい就労システムの設置を検討する考えがあるかどうか伺います</p> <p>③総合対策のための登録制度と総合対策室の設置について、「生きがい、仕事、健康管理、医療、介護など各分野での事業がばらばらに行われている。これが大田原の弱点ではないか」と、ある医師からの意見を伺いました。私も同感で</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	4	議席番号	21
		質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
3 障害者との共生社会を目指して	<p>す。高齢者の要望は多様で変化します。市に高齢者の総合相談窓口を設置してはどうでしょうか。また、リタイヤ後の支援やその後の支援を積極的に進めるために、息の長い、柔軟な、任意による登録制度を創設してはどうか。これは、民間ではできません。市だからできる積極的な制度です。市の65歳以上の高齢者は約2万人、内65歳～75歳までの方が約1万人、これらの高齢者に対する積極的な対策を進める、高齢者総合対策室の設置を提案します</p> <p>(1) 障害者雇用の促進について  国では国税庁、県では教育委員会を先頭に、障害者の法定充足率の水増しが発覚、大問題となっています。大田原市でも2名の方のミスマッチがあったものの、基準はクリアしていたとのことですが、なぜこうした事態が起こったのか、今後の改善点を伺います。障害者の雇用の促進について、法定基準にとらわれることなく、障害者との共生社会の実現、民間企業の模範になるためにも、市が積極的に障害者雇用に、思い切って進めてはどうかと思えます。障害者の臨時雇用を含め、多くの障害者を受け入れ、共に働く環境づくりが大切ではないでしょうか</p> <p>(2) 障害者の働く場所としては、社会福祉法人「エルム福祉会」など障害者支援施設での懸命な努力がなされています。どの位の障害者が働いておられるのか、市としてどうとらえ、支援や連携をどう強めていこうとおられるのか伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	4	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
4 焼却場、ごみ発電、木質発電について	<p>(3) 差別解消法にもとづく、バリアフリー化への取り組み状況はどうなっていますか</p> <p>(4) 障害者スポーツのその後の推進状況は</p> <p>(5) 福祉と農業の連携 農・福連携への取り組み</p> <p>(6) 成人の発達障害者の相談窓口の開設の考えがあるか伺います</p> <p>(1) 焼却場延命工事及びごみ発電について  埼玉秩父クリーンセンターは、大田原とほぼ同規模のごみ焼却場です。6年前に焼却場の延命化工事(基幹部分の更新)を行い、ごみ発電機を設置しました。工事費は総額で20億1768万円、うちごみ発電機は5億548万円です。今回の「広域クリーンセンター大田原」の延命工事費は44億円、内ごみ発電は17億円です。延命工事費全体は2.2倍、ごみ発電はなんと3.4倍です。「ごみ発電は、補助金(税金)による、企業のための事業ではないか」との市民からの批判の声があります。どうお答えになりますか。採算性についても同様の疑問が寄せられています。説明を求めます。前議会では、「詳細設計が固まっていないので答えられない」とのことですが、今明らかになっている状況の中での答弁を求めます。性能発注方式ですといつまでも固まらないのではありませんか。2.2倍、3.4倍ではおかしくありませんか。市長からも明確な答弁を求めます。補助金についてですが、秩父は9億4571万円(47%)でした。大田原は総額いくらですかおたずねします</p> <p>(2) 木質発電について</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	4	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
5 市民の声	<p>公害のない小型の木質発電計画の問い合わせがある、とお聞きしますが進行状況はいかがですか。バイオマス産業都市構想における木質発電の目的は、森林の保全・整備・森林業者の雇用促進などとなっています。業者選定にあたってどのような基準で当たられておりますかお尋ねいたします。その条件として、①木材(残材なくすべてを買い取る)、竹材も活用し、林業整備・雇用促進に役立つ ②公害・産廃がなく、資源も活用できるシステム設備技術を有し、売電期間20年以上安定して経営できる企業である ③森林事業者、森林組合の方々の苦勞や悩みがわかり、共生の立場をとることができる、などが考えられます。いかがですか。山林・竹林の荒廃を防ぎ、若返りを図る、地域の雇用・活性化をはかるなど、適地と思われる地域への理解を深める、努力をどのように進める計画かお尋ねいたします</p> <p>(3) 焼却場の移転問題について 秩父の例では、期限付き住民協定があり、42年3月末までに移転が決まっています。前議会で15年後クリーンセンター大田原の建て替えが問題になるのかお答えがありませんでした。見通しを明確にお答えください。移転について期限付き住民協定締結を含めた、市長のきちんとした態度表明を求めます</p> <p>(1) 街灯をつけてください 331号線大田原信用金庫南支店から桜岡齒科の間、街灯がなく真っ暗で危険です。女子高生や学生の事故が起こる前に明るくしてください</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	4	議席番号	21	質問者	本澤 節子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>(2) 太陽光発電と自然破壊について 農村地域に残された貴重な自然である山野が、安く買いたたかれ、太陽光発電のパネルが敷き詰められて行く姿に、胸が痛くなります。地域の温暖化や気流の急上昇による竜巻の原因になったり、使用期限の20年後の廃棄物処理の公害が心配です。倒産し放置した場合どこが責任を持つのか、早急な規制ができないか</p> <p>(3) 消防署はなぜ河川氾濫危険地域に作ったのですか、行政の態度に疑問を感じます。反省点は、周辺の避難対策などはどうなっていますか。避難所の責任者に女性も入れていくべきとの声にどうお考えですか</p> <p>(4) 「廃屋を減らしていく」「更地にすると税金が高くなる」この矛盾をどう解決したらいいと考えますか。特例にもとづく条例化など先進例についてのお考えを伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	5	議席番号	1
		質問者	秋山 幸子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 こども医療費助成制度について	<p>(1) 国保に於ける、未就学児(現物給付)、小学生、中学生、高校生(償還払い)「こども医療費助成制度」利用人数と利用率及び助成金額を伺いたい</p> <p>(2) 未就学児までの、医療費助成制度実施の減額調整措置(ペナルティー)を、国が廃止した事によって生じた増収分を、少子化対策として「子ども達の命を守る」と云う立場から、高校生まで医療機関窓口払い無しの無料化を進める考えはあるか伺いたい</p>
2 本市の小・中学校での児童・生徒の学校歯科検診と治療について	<p>(1) 小・中学校の歯科検診で歯科医受診の指示を受けた人数、治療を受けた人数、未受診の人数を伺いたい</p> <p>(2) 歯科医受診の指示を受けたにもかかわらず受診しない児童・生徒の要因を把握しているか伺いたい</p> <p>(3) 特に成長過程にある子どもへの虫歯の影響は深刻である。こども医療費助成制度の歯科医療の概要について伺いたい</p>
3 高齢者の歯と口腔内健康保持に8020運動の推進について	<p>(1) 栃木県では高齢者の生涯にわたる健康づくりに、8020運動を推進している。80歳以上で20本以上の自分の歯を持つ8020運動の大田原市の取組みについて伺いたい</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式		
質問順位	6	議席番号	7	質問者	櫻井 潤一郎

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 福祉タクシー事業について	(1) 利用者数の推移と利用状況について伺いたい (2) 利用券使用の見直しについて伺いたい
2 有害鳥獣駆除対策について	(1) イノシシ農猟について伺いたい
3 栃木国体について	(1) 進捗状況について伺いたい (2) 今後の予定について伺いたい
4 地球温暖化について	(1) 取組と実績について伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	7	議席番号	14
		質問者	小池 利雄

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 観光危機管理の充実について	<p>(1) 「地域防災計画」に、観光旅行者に対する避難場所・避難経路などの計画が定められているのか伺いたい</p> <p>(2) 「地域防災計画」に、外国人観光客への情報伝達に関する事項が整備されているか伺いたい</p> <p>①災害情報の多言語化(多言語標識・通訳ボランティアの整備など)の取り組み</p> <p>②外国人観光客に対する避難所の運営の取り組み</p> <p>③関係機関や関係団体との連携の取り組み</p> <p>(3) 災害時におけるホテル協会や旅館組合との協定は出来ているのか伺いたい</p> <p>(4) 観光関連施設の耐震化はどのようになっているのか伺いたい</p>
2 学校の防火シャッターについて	<p>(1) 防火シャッター点検の現況について伺いたい</p> <p>(2) 設備の安全対策について、今後の取り組みを伺いたい</p>



質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	8	議席番号	2
		質問者	印南 典子

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 国の制度を大田原市の実情に応じた仕組みに変える為の地方分権改革の「提案募集方式」の活用について	<p>(1) 本市の地方分権改革の「提案募集方式」の活用状況について</p> <p>(2) 今後の地方分権改革の「提案募集方式」の活用に関する本市の方向性及び具体的な取り組みについて</p> <p>(3) 具体的な支障事例を集約する為の市民への啓発及びPRについて</p>
2 更なる安心安全性の向上を図る為の災害時に備えた施策について	<p>(1) 市民及び市外からの来訪者にも対応した避難情報の発信について</p> <p>(2) 災害時のトイレ(トレーラー型トイレ)確保の為の「ネットワークづくり」について</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式		
質問順位	9	議席番号	8	質問者	高木 雄大

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 超高齢化社会における 高齢者の健康と生きが いづくりについて	(1) 高齢者の健康と生きがいづくりの取り組みの現 状について伺いたい (2) 高齢者の就労支援について伺いたい (3) 超高齢化社会に対して、高齢者の健康と生きがい づくりの今後の取り組みと課題について伺いた い
2 大田原市歴史遺産の有 効活用について	(1) 主な遺跡、資料館の来場者の現状と課題について 伺いたい (2) 学校における歴史教育の一環としての活用状況 と今後の課題について伺いたい (3) 歴史遺産、資料館等との観光における連携につい て伺いたい
3 大田原中学校増改築事 業について	(1) 今後のスケジュールについて伺いたい (2) 工事期間中の熱中症予防策について伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式		
質問順位	10	議席番号	12	質問者	中川 雅之

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 小型無人機「ドローン」を活用したまちづくりについて	<p>(1) 本市で導入した「ドローン」の活用状況について伺います</p> <p>(2) 今後の「ドローン」の活用について伺います</p> <p>①自治体における活用について</p> <p>②農林業における活用について</p> <p>③教育(ICT教育推進)における活用について</p> <p>④スポーツ・競技会における活用について</p> <p>⑤将来の展望「特区」としての考え方について</p>
2 「風しん・インフルエンザ」感染予防対策について	<p>(1) 本年度「風しん・インフルエンザ」の感染が関東地方を中心とし、発生届出数が増加傾向にあり、本市の感染防止対策について伺います</p> <p>(2) ワクチン不足に対する本市の対応について伺います</p> <p>(3) 市内企業に対しての感染症予防対応について伺います</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	11	議席番号	4
		質問者	鈴木 央

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 デスティネーションキャンペーン終了について	(1) 評価について伺います (2) 今後の取り組みと課題について伺います
2 工業団地について	(1) 今後の見通しについて伺います
3 街路樹の維持管理について	(1) 今後の取り組みについて伺います

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	12	議席番号	9
		質問者	高瀬 重嗣

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 新元号の扱いについて	(1) 市はどのように対応していくのか伺いたい
2 成人年齢引き下げに対する今後の市の対応について	(1) 主権者教育や消費者教育について市はどのように考えているのか伺いたい (2) 成人式について、どのような対応を考えているのか伺いたい
3 市の各「都市宣言」について	(1) 宣言の目的について伺いたい (2) 宣言を実現していくためにどのような施策を講じているのか伺いたい

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	13	議席番号	22
		質問者	小野寺 尚武

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 新年度の予算編成と透明性の高い財政運営のための提言	<p>(1) 平成31年度予算編成方針は、すでに市民に公開し評価しているが、これまでの予算編成方針と大きな相違点は何か</p> <p>(2) 先に策定された中期財政計画と予算編成作業での数値との整合性について</p> <p>(3) 市民が一層関心と理解を深めるため、透明性の高い財政運営を行うためにも予算の編成作業確定後、順次公開することを提言する</p>
2 文化財行政について	<p>(1) 芭蕉の俳句の管理について</p> <p>(2) 大田原市内の句碑・歌碑・詩碑・文学碑の現況と今後の活用について</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一問一答方式
質問順位	14	議席番号	3
		質問者	星 雅人

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 文化財の保存と活用及び市史編さん事業について	<p>(1) 文化財保護法の改正を受けて、市の考えを伺いたい</p> <p>①文化財保存活用地域計画について</p> <p>②文化財保存活用団体について</p> <p>③文化財保護指導委員について</p> <p>(2) 歴史文化基本構想の進捗状況を伺いたい</p> <p>(3) 市史編さん事業の進捗状況を伺いたい</p>
2 地域の文化拠点としての図書館について	<p>(1) 郷土資料の電子化・電子書籍化について伺いたい</p> <p>(2) 複製絵画の貸し出しについて伺いたい</p> <p>(3) ボードゲームの貸し出しについて伺いたい</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	15	議席番号	23
		質問者	千保 一夫

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
1 津久井市政に期待する 3期12年の集大成に ついて	<p>(1) 市の魅力度アップにより交流人口増を図るべき</p> <p>①新たな観光資源の創造</p> <p>イ) 大田原の四季絶景100選募集(月毎の紹介パンフレット作成)</p> <p>(2) 市民の健康増進意欲を更に高めるために</p> <p>①市内公園に筋力アップ・歩行訓練効果を期待できる安全な運動器材を設置する</p> <p>②旧交通公園や水辺公園計画地、黒羽総合運動公園を仮称「ウエルネスパーク」としてリハビリや運動機能向上の役割をもたせる</p>
2 議会の意見は市民の声 である、と謙虚に受け止 めるべき	<p>(1) 3年間を振り返り改めて確認したい</p> <p>①(株)大田原ツーリズムは道の駅那須与一の郷の指定管理者に最適であり、市民負担の軽減にもつながることから、然るべき時期に指定管理者とすべき</p> <p>②市アンテナショップ設置運営は費用対効果の観点から別に適切な場所に移転を検討すること、その後の経緯について</p> <p>③市が早急に取り組むべき重要な事業として</p> <p>イ) 野崎地区の一体的整備のその後の経緯</p> <p>ロ) 矢板北スマートインターチェンジへのアクセス道路と国道4号矢板大田原バイパス(土屋バイパス)整備事業における大田原市関連の道路のあり方について</p> <p>④若草の一般廃棄物中間処理施設の次期移転候補地の検討を始めるべき</p> <p>⑤地域公共交通体系の一体的整備のあり方として現在検討している内容について特に事業実施要綱や補助金交付要綱のみに基づいて実施</p>



質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	15	議席番号	23
		質問者	千保 一夫

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>している事業等の改廃が市議会の全く関与しないうちに自由に行われることは問題である</p> <p>⑥日本版CCRCへの取り組みの現状について特に首都圏等の中高齢者に対し市内誘導を図ることは長期的には「現在市民」の負担増を招くだけである</p> <p>⑦八溝山周辺地域定住自立圏構想への取り組みは担当する市職員にとって「労多くして成果が少ない」のではないか、せめて八溝山山頂付近の3県境から各県に向かう山岳道路を整備して観光用スカイライン整備により北関東と南東北を結ぶ構想に集中してみてはどうか</p> <p>⑧那須地区広域合併推進については、条件が整ってきているのではないか</p> <p>⑨市公共施設等総合管理計画の推進は拙速を慎むべき(コンパクトシティとの考えは周辺地域の切り捨てを意味する)</p> <p>⑩市地域包括ケアシステム構築の進捗状況について、真に実効あるシステムにしなければ意味が無い</p> <p>⑪子宝祝金制度改善について(増額すべき)</p> <p>イ)「年間550人前後の出生者数のうち100人前後が第三子以降であるということから少子化対策・子育て支援の取り組みとして今後は拡充して参りたい」との答弁のその後</p> <p>⑫市が取得して住宅地開発を進める金田地区の土地についてその後の状況</p> <p>イ) 開発分譲主体はだれになるのか</p> <p>ロ) その選定方法・時期等</p> <p>⑬県内唯一のパイプオルガンを年間を通して活</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式		
質問順位	15	議席番号	23	質問者	千保 一夫

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>用するまちづくり推進について</p> <p>⑭ふれあいの丘天文館の更なる活用によって本市をPRすべき</p> <p>⑮深山ダム放流に備えて、黒羽・湯津上地区の那珂川沿線に警報局を設置する件はどうなったか</p> <p>⑯夜間の救急医療体制の更なる充実について広域で検討すべき</p> <p>⑰まちなかに笑顔があふれる大田笑市づくりをもっと推進すべき</p> <p>⑱豊道春海、村上英俊の業績に関連したまちづくりをすべき</p> <p>⑲平塚らいてふの顕彰碑建立について</p> <p>⑳印南丈作、大高原五等をまちづくりに活かすべき</p> <p>㉑王将戦を契機に若い棋士を対象とするタイトル戦を創設してはどうか</p> <p>㉒論語塾を生かして論語による国語力・人間力向上策を講じてはどうか、又、論語検定制度の創設についてはどうか</p> <p>㉓市の将来に影響の大きい黒羽高校存続に向け、地元自治体として地域特性を生かした特色ある学校への取り組みを準備すべきではないか</p> <p>㉔市内小中学校統廃合計画は見直しが必要ではないか</p> <p>㉕校務支援システムの導入計画は完了したのか</p> <p>㉖佐久山地区記念樹の森計画の修正計画案は見えてきたか</p> <p>㉗市立美術館建設の検討状況について</p> <p>㉘小規模事業所の事業継承支援制度取り組みについて</p>

質問区分	一般質問	質問方式	一括質問一括答弁方式
質問順位	15	議席番号	23
		質問者	千保 一夫

質問事項	質問要旨(質問の具体的内容)
	<p>イ) 中小企業庁も「公の機関が行うことで効果が上がる」とし今後更なる取り組みを示唆している。本市も自分の問題と捉え、自ら直接取り組むべきである</p> <p>㊸区域運行事業としての市のデマンド交通について</p> <p>イ) 総経費から料金収入を差し引き、残りの全費用分を市が補助するという制度は異状である。企業努力やリスク分散のあり方等、適切な市民負担のあり方に改善すべきである。</p> <p>ロ) 現在、黒羽地区外の者は登録していなくても、予約して利用できることになっているが、利用実態はどうか、又問題はないと考えているか</p>